

# 厚真町における地域公共交通活性化・再生総合事業（計画事業 1年目）

## 厚真町地域公共交通総合連携計画の目標

今後の、過疎化・高齢化の状況、地域課題への対応、また、厳しくなる財政負担を考慮し、町民と共に考え、効率的で持続可能な地域公共交通対策を図る。

- ・交通空白・不便地域の解消
- ・効率的な公共交通体系の構築
- ・中心市街地活性化に寄与する公共交通サービスの充実
- ・公共交通の利用促進

## 22年度総合事業計画の概要

### 1) 循環福祉バス（デマント方式）の実証運行

- 運行期間 : H22.10~ H23.3  
 運行地区 : 循環福祉バスの路線を基本とし、幌内線においては運行範囲を拡大  
 運行本数 : 月・水・金 : 2路線各3便  
 (豊沢・軽舞・豊丘線、豊川・共栄・富野線)  
 火・木・土 : 3路線各3便  
 (幌内線、新町・美里線、幌里・朝日・東和・宇隆線)  
 運賃 : 100円均一  
 運行事業者 : あつまバス株式会社

## 厚真町地域公共交通活性化協議会開催状況

- H22.7.21 第6回専門部会を開催  
 ・平成22年度事業計画について  
 H22.7.28 第8回協議会を開催  
 ・平成22年度事業計画について  
 H22.8.31 第9回協議会を開催  
 ・自家用有償旅客運送の変更登録について  
 H22.12.22 第7回専門部会を開催  
 ・実証運行の実施状況について、利用実態調査について

### 2) 路線図・時刻表の作成

循環福祉バス運行路線図（予約制）

ご利用にあたっての注意事項

- 予約制による運行のため、乗客確保が重要であり予約制となっております。
- 予約制による運行のため、乗客確保が重要であり予約制となっております。
- 予約制による運行のため、乗客確保が重要であり予約制となっております。
- 予約制による運行のため、乗客確保が重要であり予約制となっております。

### 3) ニュースレターの発行

- H23.3に発行予定  
**【内容（予定）】**実証運行の実施状況について、実証運行の効果について、翌年度事業について

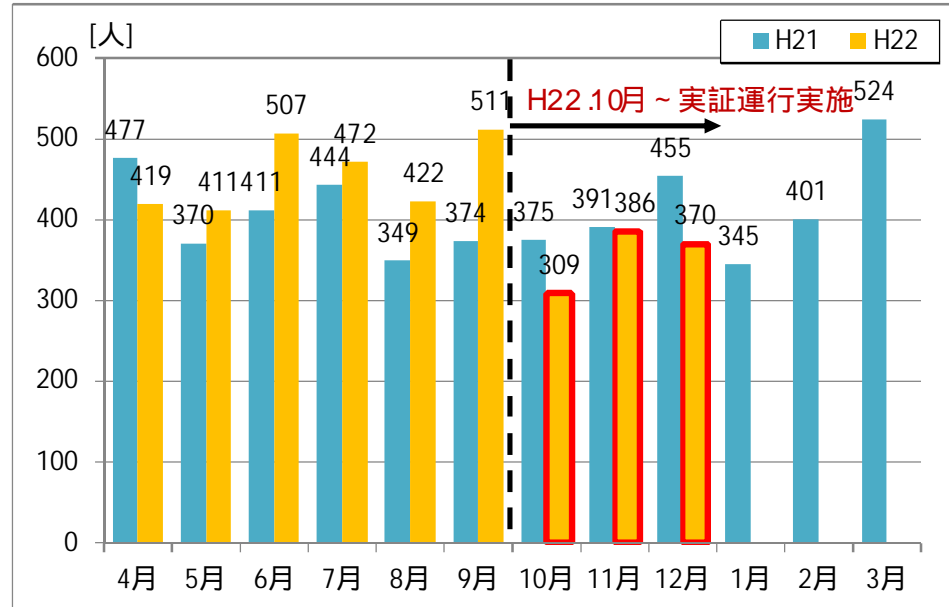
## 22年度事業の実施状況

### 1) プロセス、創意工夫

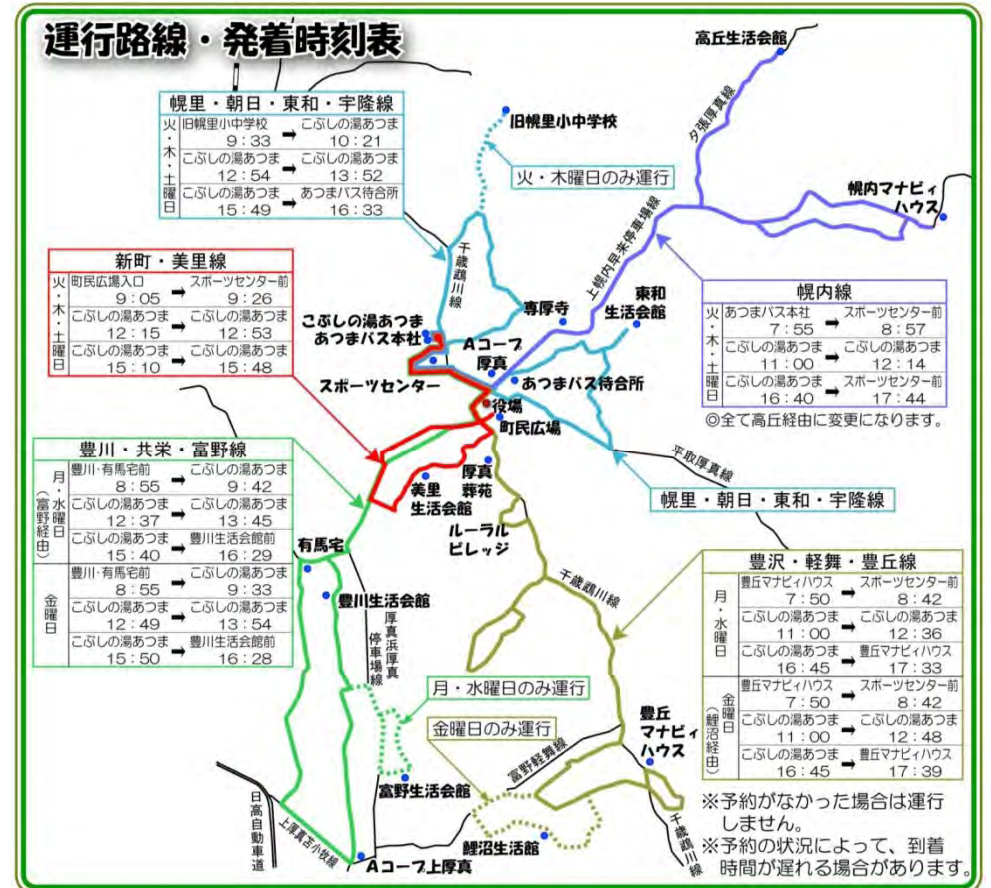
協議会及び専門部会において、循環福祉バス(デマンド方式)の運行路線や運行ダイヤ、予約方法等について協議し、委員の意見や学識経験者の助言を踏まえ、運行計画を立案し、実証運行を実施。

・実証運行の実施にあたり、周知用チラシを町内全戸に配布し、利用促進を図った。(実証運行実施前、計3回配布)  
 ・H22.12月に実施した専門部会において、実証運行の実施状況について協議し、利用状況や利用実態調査、また委員が地域住民から自発的に行った聞き取り調査の結果等から得られた課題を踏まえ、今後の運行改善案について検討を行った。

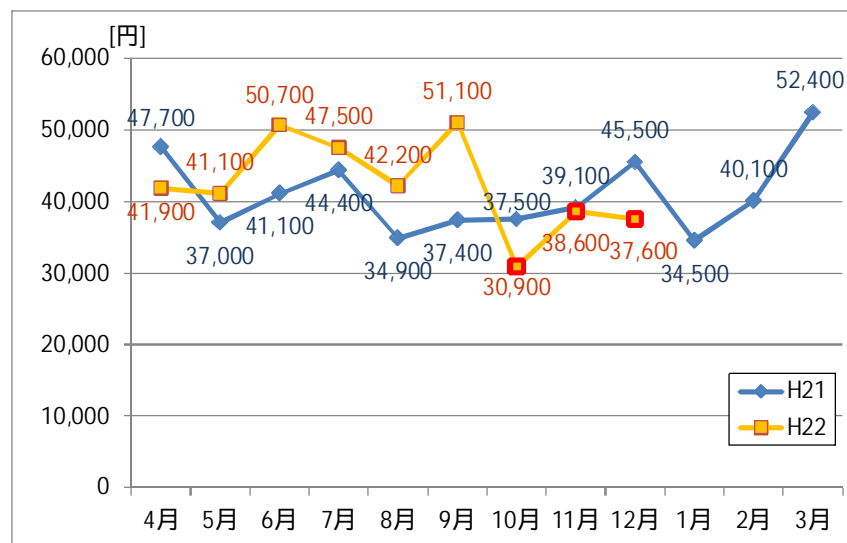
### 3) 利用実績



### 2) 運行ルート



#### 4)収入実績



#### 5)事業実施効果

・予約制の導入により、一便あたりの乗車人数は増加しており(一便あたり平均乗車人数・・・平成21年4月～平成22年9月 2.2人/便、実証運行後 3.4人/便) また、燃料費等の削減による運行経費の削減も見られ、運行の効率化が図られている。

・地域の代表者である専門部会委員(老人クラブ会長など)が地域公共交通の伝道師となり、実証運行に対する聞き取り調査等を自発的に地元地域で実施し意見や要望等を協議会に提示したり、地域の集まりで公共交通に対する議論を行うなど、ソーシャルキャピタルの醸成につながっている。

#### 6)今後の課題

- ・デマンド方式の導入による運行向上分での運行区域の拡大
- ・電話予約への抵抗を軽減するための予約サポートの実施
- ・待ち時間に対する抵抗を軽減するための地域連携による待合スペースの設置
- ・循環福祉バス(デマンド方式)の利用者増加や公共交通に対する意識の向上に向けた方策の実施

#### 自己評価のポイント

・乗合タクシー実証運行とデマンド型交通実証運行を実施したところ、運行の効率化が図られたが、利用者数の減少が見られるので、電話予約の煩わしさについて見直しを行う必要である。

#### 二次評価のポイント

・自己評価のとおり。予約サポートの実施等の所要の見直しを行い、利用者利便を向上させるよう検討されたい。